

単元名 He is famous. She is great. “We Can!2 Unit3”

～学級の友達と世界で活躍する日本人を紹介し合おう～

学 級 第6学年3組 34名

1 単元について

【単元観】

本単元は、ポスターを作成し、世界で活躍する日本人を学級の友達と紹介し合うことをゴールの活動として設定している。この活動を通して、好きなものやできることなど自分のことについて表す表現に慣れ親しみ、その表現の文構造に気付かせることをねらいとしている。

本単元で使用する“I like”“I have”“I can”などの表現は、これまでも様々な単元で繰り返し学習してきた表現であり、自分のことを伝える際、よく使用する表現である。本単元では、ある人物になりきって人物紹介をするために、これらの表現を扱う。この学習を通してこれらの表現の定着を図り、音声で慣れ親しんできた表現について、その文構造を理解することができるようにしたい。文構造を理解することで、児童が自分で表現を紡ぎ出し、場面や状況に応じて、自分の伝えたいことを表現することができるようになる。また、相手の表現していることも十分理解することができるであろう。児童が文構造を理解することで、より豊かなコミュニケーションが図れるようになる。考える。

【児童観】

本学級の児童は、昨年度から週2時間の外国語活動の学習を始め、これまで約90時間の外国語活動の学習経験をしている。6月に実施したアンケート調査によると、「外国語活動の授業に進んで参加している」という項目について、97%の児童が肯定的回答をしており、英語学習への意欲が高い。6年生になって、児童同士でやり取りをする活動（スモールトーク）を経験し、友達とコミュニケーションを図ることが楽しいと感じている児童が増えてきた。また、これまでの学習を通して、まとまった英語を何度か繰り返し聞くと話の概要が捉えられるようになってきた。さらに、自己紹介の単元では、既習表現を含めた自己紹介に必要な表現を増やしていくことで、単元のゴールでは、6文程度の自己紹介ができるようになった。

しかし、ペアでやり取りをする場面では、相手に問いかけたり、相手が言ったことに応じたりする時に、適当な言葉が見つからない、決まった表現しか使っていないといった様子が見られる。アンケート調査でも、「やり取りや発表をする時には、自分の考えや気持ちなどを伝えている」という項目について、「あてはまらない」と回答した児童が数名いた。

これらのことから、伝えたいという気持ちはあるが、場面や状況に応じて自分の考えや気持ちを表現する言葉や手段が定着していないといえる。

【指導観】

指導に当たっては、単元のゴールに好きなことやできることなどを表す既習表現を使いながら、紹介文をかいたポスターを作って、世界で活躍する人を学級の友達と紹介し合うという言語活動を設定する。単元の始めに教材 We Can!1 Unit1 を使って世界で活躍する日本人を紹介し、最近のニュースと関連させながら、他にも世界で活躍する人がたくさんいることに着目させる。そして、指導者による Who am I?クイズでゴールの紹介の姿を見せることで、児童に、「自分もこの人を紹介したい」という意欲をもたせ、主体的に学習することができるようにしたい。

ゴールの活動では、自分が選んだ人物になりきって紹介することとする。また、自己紹介するだけでなく、その紹介内容に関連した質問をしたり答えたりすることで、児童が互いに自分の考えや気持ちを伝え合うことができるようにする。

そのために、ゴールの活動へ向けた各時間に、自分や第三者のことについて、「好きなもの」や「得意なこと」などのテーマに沿ってペアでやり取りをする活動を設定する。そのやり取りの活動の中で、自分の考えや気持ちを伝える表現、付け加えて質問する表現などを全体で共有しながら、既習表現を使ってやり取りを続ける方法に気付かせ、児童が自ら使えるようにしていく。

さらに、各時間で聞いたり言ったりして音声で慣れ親しんでいる表現を取り上げ、文構造に着目し、理解させるようにする。その際、単語を添えた絵カードを使用し、いくつかの文を並べて比較させることで語順に気付かせる。そして、その絵カードを使って、児童が自ら語と語を組み合わせて文を作る体験をさせる。文を作る際には、自分や第三者のことについて、友達とやり取りをしながら音声で十分慣れ親しんだ上で、音と文字の関係をたよりに文を作ることができるようにする。さらに、児童が作った文を読んだり、書き写したりさせることで、語順の理解を深めるようにしていく。

これらの学習を積み重ねることで、児童が伝えたい内容を自ら表現する力を付けていきたい。

2 単元の目標

- 進んで、第三者について伝え合おうとする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 自分や第三者について聞いたり言ったりする。 【外国語への慣れ親しみ】
- 語順を意識して、例を参考に紹介する文を書く。 【外国語への慣れ親しみ】
- 「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付く。 【言語や文化に関する気付き】

3 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
○進んで、自分や第三者について伝え合おうとしている。	○自分や第三者について、聞いたり言ったりしている。 ○語順を意識して、例を参考に紹介する文を書いている。	○「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付いている。

4 単元のゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	<p>【目的】学級の友達に世界や日本で活躍する日本人について知ってもらう。</p> <p>【場面】学級の友達同士で紹介し合う。</p> <p>【状況】自分が紹介する人物がどんな人物か知らない人もいる。ある人物になりきって、紹介する。</p>
目指す発話例	<p>〈人物紹介例〉</p> <p>S1 : I'm from Osaka. I like watches. I can play soccer well. I can speak Italian. I'm a professional soccer player. This is Honda Keisuke.</p> <p>〈やり取り例〉</p> <p>S2 : Do you like Honda Keisuke? S1 : Yes, I do. I like Honda Keisuke. S2 : Why? S1 : He is cool.</p>

5 言語材料

【主な使用表現・語彙】

I am (Ken). I'm from (Osaka). I like violin.
I play [the violin / baseball]. I [have / want] a new [recorder / ball].
I eat (spaghetti). I study (math).
I can [swim / cook / skate / ski / sing / dance]. I can (play soccer well / speak English).
I am a [soccer player / singer].
This is (Honda Keisuke).
[He / She] is [famous / great / cool / kind].
Do you like (Honda Keisuke)? Do you like (baseball) ?
Yes, I do. I like [Honda Keisuke / baseball].
Why?

【既習表現・語彙】

he, she, 動物, 飲食物, スポーツ, 身の回りの物, 教科, 動作, 状態, 気持ち

学習過程	時	目標 (◆) 主な学習活動 (○)【誌面化されている活動】	評価			表現例	
			コ	慣	気		評価規準 (方法)
課題設定	1	<p>◆自分や友達について、好きなことやできることを表す表現を聞いたり言ったりする。</p> <p>○世界で活躍する日本人の紹介を聞く。 ・世界で活躍する4人の紹介を聞いて、どんな人物か知る。 ○単元のゴールの活動を話し合う。 ・世界で活躍する人について、学級の友達と紹介し合うという単元のゴールをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>世界で活躍する人について、ポスターをかいて紹介し合おう。</p> </div> <p>○Who am I?クイズをする。 ・指導者の紹介を聞いて、学級の中の誰のことかを答える。 【Let's Play 1】 ・ポインティングゲームをする。(食べ物、動物、教科等の単語) ○Let's Talk ・ペアで、好きなこと、欲しいものについて伝え合う。</p>		○		<p>・自分や友達について、好きなことやできることを表す表現を聞いたり言ったりしている。 (行動観察、振り返りカード点検)</p>	<p>I like ~. I have ~. I can ~. Who am I?</p> <p>I like ~. I want ~. How about you?</p>
	2	<p>◆自分や友達について、もっているものやほしいものを表す表現を聞いたり言ったりする。</p> <p>○Sounds and Letters (h) 【Let's Watch and Think1】 ・書かれている文や絵を手がかりに、デジタル教材の音声を聞いて、それが誰のことかを考え番号を記入する。 ・スペルを聞いて名前を書き、ポスターを完成させる。 【Let's Play】 ・ポインティングゲームをする。(登場人物の紹介文の単語・文) ○Let's Talk ・ペアで、できること等について伝え合う。</p>		○		<p>・自分や友達について、もっているものやほしいものを表す表現を、聞いたり言ったりしている。 (行動観察、振り返りカード点検)</p>	<p>I play the ~. I want ~. I like ~.</p> <p>I can ~.</p>
	3	<p>◆第三者について、好きなことや、日頃することなどを表す表現を聞いたり言ったりする。</p> <p>○Small Talk ・好きなキャラクターについてペアで話す。 【Let's Listen 1】 ・特徴を説明している音声を聞いて、どのキャラクターか記入する。 【Let's Watch and Think2】 ・登場人物の自己紹介の音声を聞いて、あてはまるカードを選ぶ。 ・ペアで、カードを置いて意味の通る文を作る。</p>		○		<p>・第三者について、好きなことや、日頃することなどを表す表現を聞いたり言ったりしている。 (行動観察、振り返りカード点検)</p>	<p>I like ~. Why? He is ~. He can ~. How about you?</p> <p>I like ~. I have ~. I can ~. Who am I?</p>

4 【本時】	<p>◆好きなことや、日頃することなどを表す表現について、「主語+動詞+目的語」の文の語順に気付く。</p> <p>○Small Talk ・好きな有名人についてペアで話す。</p> <p>○Let's Play ・ミッシングゲームをする。(動作の語) ・グループで自分のことを伝え合う。</p> <p>○Let's Talk ・ペアで、日頃していることや自分自身のことについて伝え合う。</p> <p>○文作り ・語順を意識して、自分のことを伝える文を作る。</p>			○	<p>・好きなことや、日頃することなどを表す表現について、「主語+動詞+目的語」の文の語順に気付いている。(行動観察、振り返りカード分析)</p>	<p>I like ~. Why? I like ~. He can ~. He is ~. How about you?</p> <p>I eat ~. I like ~. I have ~.</p>
5	<p>◆自分や第三者について、好きなことやほしいもの、できることなどを表す表現を聞いたり言ったりする。</p> <p>◆語順を意識して、例を参考に文を書く。</p> <p>○Sounds and Letters (j) 【Let's Watch and Think 3】 ・音声を聞いて分かったことを発表する。 ・絵カードを置いて、聞き取った文を作る。 ・作った文を読む。</p> <p>○文作り ・ペアでカードを並べて、できるだけたくさん文を作る。</p> <p>○Let's Read and Write ・作った文を選んで、語順を意識して書き写す。</p>			○	<p>・自分や第三者について、好きなことやほしいもの、できることなどを表す表現を聞いたり言ったりしている。 (行動観察、振り返りカード点検) ・語順を意識して、例を参考に文を書いている。(ワークシート)</p>	<p>I play the ~. I play ~. My ~ is ~. I want ~. I eat ~. I like ~.</p>
6	<p>◆語順を意識して、例を参考に紹介する文を書く。</p> <p>○Small Talk ・好きな有名人についてペアで話す。</p> <p>【Let's Listen 2】 ・特徴を説明している音声を聞いて、どんな人物かを当てる。</p> <p>【Activity】 ・自分が紹介したい、世界で活躍する人について、紹介する文を作る。 ・作った文を書き写す。</p>			○	<p>・語順を意識して、例を参考に紹介する文を書いている。 (ワークシート)</p>	<p>I'm from ~. I like ~. I have ~. I can play (well). I can ~. I'm a ~. This is (人物名).</p>
7	<p>◆第三者について、好きなことやできることなどを表す表現を聞いたり言ったりする。</p> <p>◆語順を意識して、例を参考に紹介する文を書く。</p> <p>○Sounds and Letters (k) ○ALTの国の有名人について話を聞く。</p> <p>【Activity】 ・自分が紹介したい、世界で活躍する人について、紹介するポスターを作る。 ・ペアで紹介文を聞き合い、アドバイスをする。</p>			○	<p>・第三者について、好きなことやできることなどを表す表現を聞いたり言ったりしている。 (行動観察、振り返りカード点検) ・語順を意識して、例を参考に紹介する文を書いている。 (ポスター)</p>	<p>I'm from ~. I like ~. I have ~. I can play (well). I can ~. I'm a ~. This is (人物名).</p>
8 実行・振り返り	<p>◆進んで、ある人物になりきって、第三者について伝え合おうとする。</p> <p>【Activity】 ・グループで、世界で活躍する人について、その人物になりきって紹介する。 ・グループの中の代表が、世界で活躍する人を紹介する。</p> <p>【STORY TIME】 ・ライムが含まれる単語と文を読む。</p>			○	<p>・進んで、ある人物になりきって第三者について伝え合おうとしている。 (行動観察、振り返りカード点検)</p>	<p>I'm from ~. I like ~. I have ~. I can play (well). I can ~. I'm a ~. This is (人物名). Do you like ~? Yes, I do. I like ~. Why? He is ~. He can ~.</p>

7 本時の学習

(1) 目標

好きなことやほしい物などを表す表現について、「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付く。

【言語や文化に関する気付き】

(2) 評価規準

好きなことやほしい物などを表す表現について、「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付いている。

(3) 準備物

TV, PC, ワークシート, 動詞・名詞絵カード (教師用, 児童用) 振り返りカード

(4) 本時の流れ (4/8 時間)

学習過程	学習活動	指導上の留意事項		評価規準【観点】 (評価方法)
		T1	T2 (ALT)	
導入	1 Greetings Hello, everyone. Let's start English class!	○児童に対して呼びかけるようにして、外国語活動の始まりの雰囲気を作る。	○曜日, 日にち, 天気について, 児童とやり取りをする。	
	2 本時のめあてを知る。	○単元のゴールに触れ, そのために本時で学習することを意識させる。		
	Unit's Goal 世界で活躍する人について, ポスターをかいて学級の友達と紹介し合おう。			
	Today's Goal 自分のことを表す表現文を作ってみよう。			
展開	3 Small Talk ・好きな有名人についてペアで話す。	○単元のゴールを意識させ, 自分の好きな有名人について, ペアでやり取りをさせるようにする。 ○始めに T2 とやり取りの例を示したり, 児童とやり取りをしたりして, 話題や使用表現に気付かせるようにする。 ○ペアを替えて, 何度か行い, 途中, 言えなかった表現や, 会話の続け方を全体で共有し, 児童同士でやり取りが続くよう意識させる。	○T1 とやり取りの例を示す。 T1:I like Miyazon. T2:Why? T1:He can play the guitar. He can play baseball. He is funny. T2:He is great. I like Nishino Kana. She can sing well. She is cute. T1:How about you S1? S1:I like Otani Shohei. T1:Why? S1:He is great. He can play baseball.	
	4 Let's Play 1 ・ミッシング・ゲームをする。 like, want, have, eat, play, study	○前時に学習した文を想起させ, 文づくりの活動につながるよう動詞を意識させる。 ○動詞を裏返し, どの語が入るか児童に答えさせることで, 文の語順に気付かせるようにする。	○児童が答えた後, その動詞を使って自分のことを伝えたり, 児童に質問をしたりして, その動詞を使った文を言わせるようにする。	
T1: I want a new bag. How about you? What do you want T2? T2: I want a bicycle. T2:You want a bicycle. That's nice. How about you S1? S1: I want a new bat. T1: You want a new bat.				

展 開	<p>5 Let's Play 2</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで、好きなこと ほしいものなどを言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T1: I want a new bag. T2: You want a new bag. I want a bicycle. T3: You want a new bag. You want a bicycle. I want a new bat.</p> </div>	<p>○前の活動で出た動詞を使って質問をし、児童が語順を意識しながら、自分のことを伝えられるようにする。</p>	<p>○児童の様子を見て言い方に困っている児童に、英語表現を伝える。</p>		
	<p>6 Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで、自分の好きなものや日頃していることなどについて話す。 	<p>○T2 と例を示し、参考にさせる。 ○前の活動で出てきた動詞を使って、自分のことについて会話をするように伝える。</p>	<p>○T1 と例を示し、参考にさせる。 ○児童が言えなかった表現を言って使わせるようにする。</p>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T1: I like music. T2: You like music. T1: I can play the piano. I sometimes play the piano after work. T2: That's nice. T1: Do you like music? T2: Yes, I do. I like music. I like sports too. T1: What sports do you like? T2: I like basketball and soccer. I can play basketball. I can't play soccer.</p> </div>				
	<p>7 文づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> カードを並べて文を作る。 	<p>○これまでの学習や、前の活動で言った内容を想起させ、音声をたよりに、絵カードを並べさせるようにする。 ○児童が作ったいくつかの文を板書し、比較させることで、語順に気付かせるようにする。</p>	<p>○間違っていた場合、指摘するのではなく、正しく言い直して聞かせることで気付かせる。</p>	<p>好きなものや日頃することについて、「主語+動詞+目的語」の語順に気付いている。【気】 (行動観察、振り返りカード分析)</p>	
ま と め	<p>8 Looking Back</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてに対する振り返りをする。 	<p>○本時のめあてに触れ、自分のことを伝える表現について、語順を意識して文を作ることができたかという言語面の気付きについて振り返らせる。</p>	<p>○児童の英語を使って会話を続けようとする態度や、文を作る意欲について称賛する。</p>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【児童の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> • Iの次に、want や have など動作を表す言葉がくることが分かった。 • 日本語と英語は、言葉の順番がちがっていると思った。 • 言葉の順番が分かって、自分で文を作ることができたので、次は、自分が選んだ人物を紹介する文も考えたい。 </div>				
	<p>9 Greetings</p> <ul style="list-style-type: none"> 終わりの挨拶をする。 <p>Let's finish English class. See you!</p>	<p>Let's finish English class. See you!</p>	<p>Let's finish English class. See you!</p>		

(5) 板書計画

4つの観点

Friday




July 6th

Sunny

Unit's Goal 世界で活躍する人について、ポスターをかいて学級の友達と紹介し合おう。

Today's Goal 自分のことを表す文を作ってみよう。

リアクション

I	 eat	
I	 like	
I	 want	
I	 study	